

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>		高度情報通信福祉事業		<b>担当部局庁</b>	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成14年度		<b>担当課室</b>	企画課自立支援振興室			君島淳二	
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>		—		<b>関係する計画、通知等</b>	障害者基本計画、重点施策実施5カ年計画				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		障害者が必要とする情報をインターネット等を活用して提供すると共に、これらの情報を利用するために必要な情報通信機器の使用法等を指導するパソコンボランティアの指導者の養成を行うことにより、障害者の情報通信技術の利用・活用の機会の拡大を図り障害者の情報バリアフリーを一層促進するものである。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>		実施主体である団体(3団体)が行う視覚障害者用図書情報ネットワーク事業、点字ニュース即時提供事業、パソコンボランティア指導者養成事業等に要する費用の補助を行う。							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	195	171	171	171	167	
			補正予算	1355					
			繰越し等						
			計	1550	171	171	171	167	
		執行額	1540	171	171				
執行率(%)	99.4%	100%	100%						
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
		当該事業は、障害者の情報通信技術の利用・活用の機会の拡大を図り、障害者の情報バリアフリーを促進する事業であるため、定量的な成果目標は示すことができない。		成果実績		—	—	—	—
				達成度	%	—	—	—	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		パソコンボランティア指導者養成数		活動実績(当初見込み)	人	169	155	集計中	—
						—	(220)	(220)	(220)
<b>単位当たりコスト</b>		71,655(円/人)		算出根拠	単位当たりコスト＝平成22年度パソコンボランティア指導者養成事業実績額/養成数＝11,107千円/155人				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	日本点字図書館		41	40	統一単価等による減				
	日本盲人会連合		40	40	"				
	日本障害者リハビリテーション協会		90	87	"				
	計		171	167					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	点字ニュースの発行やパソコンボランティア指導者を養成等することにより情報バリアフリーを促進し、障害者の社会参加に寄与している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	障害者基本法第22条において、「国は、障害者が円滑に情報を取得し及び利用し、その意思を表示し、並びに他人との意思疎通を図ることができるようにするため、障害者が利用しやすい電子計算機及びその関連装置その他情報通信機器の普及等が図られるよう必要な施策を講じなければならない。」とされており、予算規模や事業内容を鑑みて、国で実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業内容を十分に実現しうる団体に対して、委託費を交付している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	より安価な会場で研修を実施するなど、事業コストの削減に努めている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	ネットワーク保守料やDAISY作成に必要な経費のみに支出されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	障害者の情報バリアフリーを促進するためのパソコンボランティア養成研修やDAISY作成等の経費のみに限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	サビエ図書館の運営やパソコンボランティアの養成については、点字図書データのデータ化や全障害に対する知識が必要であるなど専門性が非常に高いため、実績がある法人に事業を補助することにより、効率的に事業が実施されている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	団体において、事業計画に沿って事業活動が可能な限り実施されている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	点字ニュースを即時発行することにより視覚障害者の情報保障に資するとともに、養成されたパソコンボランティアの指導者は各都道府県等において、パソコンボランティアの養成の講師として活躍しており、障害者の情報バリアフリーに資するとともに、社会参加の促進に寄与している。	
点検結果	<p>○当該補助金は、団体毎に交付決定・交付額の確定を行っており、事業毎に適正に執行されている。</p> <p>○補助先の各団体において、補助内容に沿った事業実績をあげ、事業の目的を果たしている。</p> <p>○平成19年に策定された「重点施策実施5か年計画」においては、「障害特性に対応した情報提供の充実を図り、障害によりデジタル・ディバイドが生じないようにするための施策を積極的に推進する」と掲げられている。</p> <p>また、障害者基本法では、「国は、障害者が円滑に情報を取得し及び利用し、その意思を表示し、並びに他人との意思疎通を図ることができるようにするため、障害者に対して情報を提供する施設の整備、障害者の意思疎通を仲介する者の養成及び派遣等が図られるよう必要な施策を講じなければならない」とされているところであり、当該事業は情報バリアフリーを推進し、障害者の社会参加の促進に資する事業である。</p> <p>○当該事業を実施することは、点字ニュースを即時発行することにより視覚障害者の情報保障に資するとともに、養成されたパソコンボランティアの指導者は各都道府県等において、パソコンボランティアの養成の講師として活躍しており、障害者の情報バリアフリー等や社会参加の促進に寄与しており、障害者基本法第22条の情報の利用におけるバリアフリー化等を促進している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	障害者基本法第22条において「国は、障害者が円滑に情報を取得し及び利用し、その意思を表示し、並びに他人との意思疎通を図ることができるようにするため、必要な施策を講じなければならない。」とされており、コミュニケーション保障の充実という観点から本事業は必要である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0506	平成23年行政事業レビュー	0459

厚生労働省  
171百万円

(22年度実績見込)

〔障害者の情報通信技術の利用・活用の機会をの拡大を図る事業に対して補助〕

【補助】

【補助】

【補助】

A.(福)日本点字図書館

41百万円

・視覚障害者用図書情報  
ネットワーク運営事業

B.(福)日本盲人会連合

40百万円

点字ニュース即時提供事業

C.(財)日本障害者  
リハビリテーション協会  
90百万円

・障害者情報ネットワーク運営事業  
・パソコンボランティア指導者養成

【随意契約】

【随意契約】

D.ソフトウェア開発業者  
(株式会社)

20百万円

ネットワークシステム保守

E.  
・サーバ運用・サイト開発業者 7.1百万円  
・字幕製作団体 0.6百万円  
・DAISY製作者(11カ所) 1.0百万円

サーバ運用、サイト開発、字幕製作等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

(注)計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

A.(福)日本点字図書館			E.有限会社A		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業部門	16	賃金	データ入力作業費、管理作業費等	7.1
委託料	ソフトウェア開発業者 ネットワークシステム保守	20	消耗品費	文房具等事務用品代	0
賃金	賃金職員	3	通信運搬費	事務連絡経費	0
消耗品費	セキュリティソフト等	1			
その他	通信運搬費、雑役務費等	1			
計		41	計		7.1
B.(福)日本盲人会連合					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業部門	22			
借料及び損料	システムリース	10			
通信運搬費	ネットワーク通信料、電話料等	4			
賃金	賃金職員	2			
その他	消耗品、機器保守、修理等	2			
計		40	計		0
C.(財)日本障害者リハビリテーション協会					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事業部門	45			
賃金	賃金職員	10			
委託料	サーバ運用、サイト開発業者、DAISY 制作、字幕制作等	9			
消耗品費	コピー用紙、文具等	3			
借料及び損料	事務機器リース、パソコンリース、研 修会会場借料等	3			
印刷製本費	研修会テキスト等	3			
通信運搬費	回線使用料、電話、郵送料	3			
雑役務費	データ入力、サーバメンテナンス等	5			
諸謝金	講師謝金等	3			
旅費	講師旅費等	4			
その他	備品購入等	2			
計		90	計		0
D.ソフトウェア開発業者			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	ハウジング費	13			
人件費	システム保守作業・カスタマイズ作業	4			
通信運搬費	回線使用料	2			
雑役務費	ハードウェア機器保守費	1			
計		20	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本点字図書館	視覚障害者用図書情報ネットワーク運営事業	41		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本盲人会連合	点字ニュース即時提供事業	40		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本障害者リハビリテーション協会	障害者情報ネットワーク運営事業及びパソコンボランティア指導者養成事業	90		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ソフトウェア開発業者	ネットワークシステム保守業務	20	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	有限会社A	サーバ運用、サイト開発	7.1	随意契約	
2	任意団体B	字幕製作	0.6	随意契約	
3	NPO法人C	発達障害者等向けマルチメディアDAISY製作	0.2	随意契約	
4	任意団体D	発達障害者等向けマルチメディアDAISY製作	0.2	随意契約	
5	任意団体E	発達障害者等向けマルチメディアDAISY製作	0.1	随意契約	
6	NPO法人F	発達障害者等向けマルチメディアDAISY製作	0.1	随意契約	
7	任意団体G	発達障害者等向けマルチメディアDAISY製作	0.1	随意契約	
8	NPO法人H	発達障害者等向けマルチメディアDAISY製作	0.1	随意契約	
9	NPO法人I	発達障害者等向けマルチメディアDAISY製作	0.1	随意契約	
10	社会福祉法人J	発達障害者等向けマルチメディアDAISY製作	0.1	随意契約	